

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

| | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|--------------|-------|
| 事業名 | 一般国道418号 <small>なかがほらいちば</small> 中洞市場拡幅 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 岐阜県 |
| 起終点 | 自：岐阜県山県市佐野 至：岐阜県関市武芸川町小知野 | 延長 | 5.9 km | | |
| 事業概要 | 一般国道418号は、福井県大野市を起点とし、長野県飯田市に至る延長約17.9kmの幹線道路で、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。本事業は東海環状自動車道西関ICへのアクセスを図るとともに隘路、線形不良区間の解消、岐阜圏域、中濃圏域との連携強化を目的とした延長5.9kmの2車線道路である。 | | | | |
| H3年度事業化 | 都市計画決定なし | H4年度用地着手 | H8年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 98億円 | 事業進捗率 | 88% | 供用済延長 | 3.8km |
| 計画交通量 | 9,500台/日 | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 3.1 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 12/115億円 (事業費：10/110億円) 維持管理費：2/6億円 | 総便益 (残事業)/(事業全体) 36/254億円 (走行時間短縮便益：35/236億円) 走行費用減少便益：3/20億円 交通事故減少便益：-1/-3億円 | 基準年 平成17年 | |
| 感度分析の結果 | 交通量変動：B/C=3.4（交通量+10%） B/C=2.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.9（事業費+10%） B/C=3.4（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=2.9（期間+2年） B/C=3.3（期間-2年） 割引率変動：B/C=3.6（割引率+1%） B/C=2.8（割引率-1%） | | | | |
| 事業の効果等 | ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（第2次緊急輸送道路に位置づけ） | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 他6項目に該当 | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | 平成17年3月に東海環状自動車道美濃関JCT以東が開通となり、岐阜県東濃地域や愛知県東部へのアクセスルートとして、本計画の必要性、重要性は高くなっている。 | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 用地買収については、一般国道256号以東はほぼ完了し、工事促進中である。現在までに3.8kmを部分供用している。 | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 一部において用地補償協議が難航し進捗が遅れていたが、関市市場工区において平成18年度部分完成を予定している。 | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | 歩道幅の見直しや河川横断工作物の工法変更、土砂の工事間流用等によりコスト縮減を図っている。 | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | |
| 事業概要図 | | | | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。